



グルタミン酸

型式 WAK-GLTM

酵素を用いた4-アミノアンチピリン比色法による
4-Aminoantipyrine Visual Colorimetric Method with Enzyme

測定範囲 L-グルタミン酸 1~50以上 mg/L (ppm)

測り方



測定値の読み方

指定時間後にチューブ内の液の色を標準色と比べます。一番近い標準色の値が測定値です。チューブ内の液の色が標準色の間の場合は中間値を読み取ってください。

パックテスト使用前、使用後の取扱い注意

応急措置

内容物が目に入ってしまったら → すぐに多量の水で洗い流してください。
内容物が皮膚や衣服にふれたら → すぐに水で洗い流してください。
内容物が口に入ってしまったら → すぐに水で口の中を洗い流してください。
内容物を飲み込んだり、上記の措置後に異常がある場合には、すぐに医師の診断を受けてください。

保管

ラミネート包装を開封した後は、なるべく早くご使用ください。
チューブ内の試薬は比較的熱に弱い性質があります。30℃以上の高温や多湿にご注意ください。長時間35℃以上の高温にさらされると発色が弱くなります。

廃棄

事業活動で使用する場合は、各関係法令に従って適切に廃棄してください。
それ以外の場合は、チューブはそのまま「燃やすゴミ」としての廃棄も推奨しています。



株式会社 **共立理化学研究所**
KYORITSU CHEMICAL-CHECK Lab., Corp.

神奈川県横浜市緑区白山1-18-2 ジャーマンインダストリーパーク
TEL: 045-482-6937

バックテスト グルタミン酸

特徴

この製品は、酵素法を用いており、食品分野など様々な検水中のL-グルタミン酸を簡単な操作で測定できます。
食品のうま味の数値評価、調味料や農作物の品質管理、調理実験教材などにご利用ください。

注意

1. 発色時のpHは、約7です。pHが4～10の範囲をこえる検水は希水酸化ナトリウム溶液または希硫酸等で中和してから測定してください。
2. 検水の温度は20～30℃で測定してください。水温が20℃より低いと発色に時間がかかります。
3. 1回で検水をチューブの半分近くまで吸い込めなかった時には、穴を上にして空気を押し出し、もう一度やりなおしてください。
4. 比色する時に、多少試薬が溶解せずに残っていても測定には影響ありません。
5. 比色は屋光で行なってください。直射日光や一部の蛍光灯、水銀灯、LEDでは比色が困難になることがあります。
6. 発色後にラインをチューブ先端の穴に戻すと、チューブ内の液がもれなくなります。

共存物質の影響

標準色は、標準液を用いて作成しています。他の物質の影響が考えられる場合は、公定法と比較するか、標準添加法により測定値を確認してください。下記は、標準液に単一の物質を添加した場合の発色への影響データです。

1000mg/L 以下は影響しない	...	B ³⁺ (ほう酸)、Cl ⁻ 、F ⁻ 、I ⁻ 、K ⁺ 、Mg ²⁺ 、Na ⁺ 、NH ₄ ⁺ 、NO ₃ ⁻ 、PO ₄ ³⁻ 、SO ₄ ²⁻ 、Zn ²⁺ 、陰イオン界面活性剤、非イオン界面活性剤、イノシン酸、グアニル酸、くえん酸、グルコース、シリカ、酒石酸、スクロース、でんぷん	
500mg/L	//	...	Ca ²⁺ 、NO ₂ ⁻ 、こはく酸
200mg/L	//	...	Al ³⁺ 、フェノール
100mg/L	//	...	Cu ²⁺
20mg/L	//	...	Fe ³⁺ 、Mn ²⁺ 、陽イオン界面活性剤
5mg/L	//	...	Fe ²⁺
1mg/L	//	...	アスコルビン酸
0.5mg/L	//	...	残留塩素、没食子酸エチル
0.2mg/L	//	...	Ag ⁺
0.1mg/Lでも影響する	過酸化水素	

海水は直接測定できません。2倍以上に希釈すると測定できます。

10%(w/w)以下のエタノールは妨害しません。

酸化性物質によって発色する場合があります。また、還元性物質が発色を弱める場合があります。

各種アミノ酸(L体)の影響

1000mg/L 以下は影響しない	...	アスパラギン、アルギニン、イソロイシン、グリシン、セリン、チロシン、トリプトファン、トレオニン、バリン、ヒスチジン、フェニルアラニン、プロリン、メチオニン、リシン、ロイシン	
500mg/L	//	...	アラニン、グルタミン
100mg/L	//	...	アスパラギン酸
2mg/L	//	...	システイン